

令和6年度 決算の概要

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現

市民サービスや各種事業などの財源は、市税によって支えられています

納めていただいた市税がどのように使われているかなど、財政に関する事項の理解を深めていただくため、令和6年度の決算概要および令和7年度上半期（4月1日～9月30日）の状況を公表します。

「令和6年度小金井市一般会計・特別会計歳入歳出決算書」（1部2,800円）は会計課（市役所第二庁舎1階）で、「令和6年度主要な施策

の成果に関する説明書・基金の運用状況に関する調書」（1部1,200円）は、財政課で販売しています。

なお決算書等は、図書館本館および情報公開コーナー（市役所第二庁舎6階）でご覧いただけるほか、市ホームページでも公開しています。
☎財政課財政係（市役所本庁舎2階 ☎042-387-9802）

令和6年度の財政状況や実施した主な事業の概要についてはこちら



一般会計

歳入については国庫支出金および都支出金等が増となった一方、根幹となる市税が復興特別税の終了や定額減税等により個人市民税の減、売上本数の減に伴いたばこ税が減となったことから、財政調整基金の大幅な取り崩し等に頼った運営となり、厳しい財政状況が続いています。

「時代の転換点」ともいえる内外の構造的な課題を的確にとらえ、社会・経済情勢の変化に柔軟に対応し、本市の魅力の再構築に取り組んだ令和6年度は、名勝小金井（サクラ）の名勝

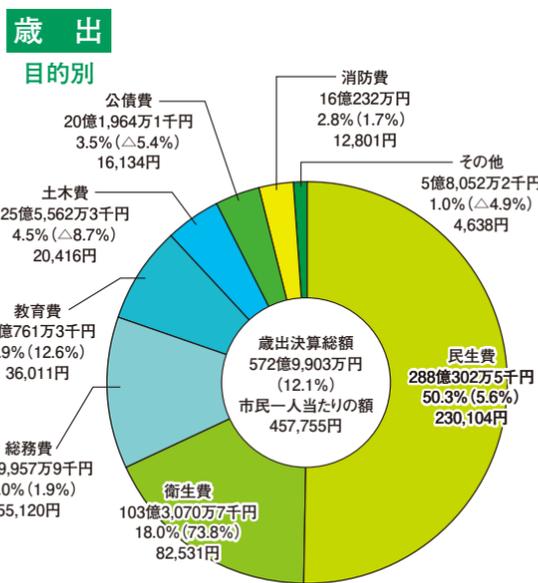
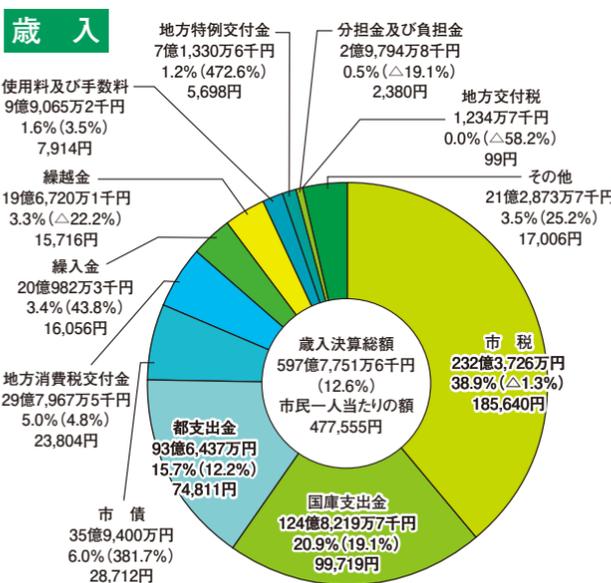
指定100周年の年に当たり記念式典およびさまざまな事業を展開し、次の100年に向けて小金井市の魅力の再構築に向けた取り組みを実施しました。また、人口減少社会の進行を見据え、限られた経営資源を最大限有効活用するために、行財政改革2025を推進するとともに、自治体DXの推進としてキャッシュレス決済、セルフレジ方式の導入等デジタル技術の活用によるさらなる市民サービスの質の向上と業務効率化に取り組みました。

混沌とした時代を迎え、気候変動、少子化、物価高騰等多様な課題を的確にとらえ、第5次基本構想の将来像「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」の実現に向け、どのような時代にあっても住み続けたいまちであるために、不断の行財政改革と財政の健全化、スマート自治体への転換を念頭に、計画的・効率的な行政執行に努め、未来につなげるまちづくりを進めてまいります。

(単位：千円)	
当初予算	54,132,000
補正予算(全9回)	5,826,224
繰越事業費繰越財源充当額	471,235
総額	60,429,459
歳入決算額	59,777,516 (対前年度比12.6%増)
歳出決算額	57,299,030 (対前年度比12.1%増)

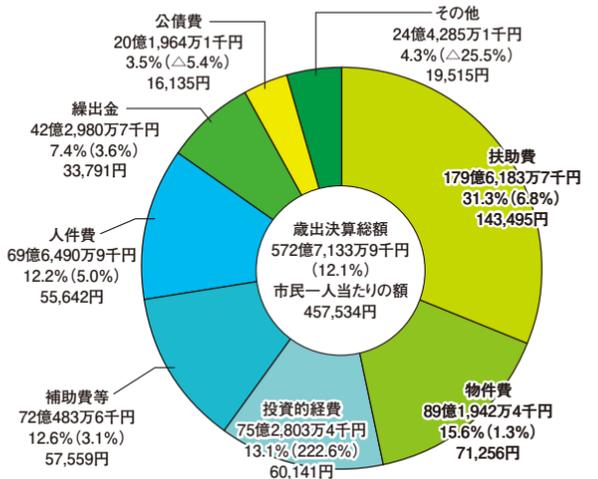
(単位：千円)	
形式収支	2,478,486
実質収支	2,409,517
実質収支比率	9.4%
人件費比率	12.2% (対前年度比0.8ポイント減)
経常収支比率	94.2% (対前年度比0.3ポイント増)

一般会計決算状況



人口 125,174人 (令和7年1月1日現在)
歳入歳出決算額 %は、歳入歳出決算総額に対する比率 ()内は、前年度に対する増減率 市民一人当たりの額

性質別(普通会計)：地方財政状況調査による
※国で定めた基準(普通会計)で算出しているため、一般会計決算額とは異なります



特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療）および公営企業会計

[表1] 特別会計決算状況

(単位：千円)						
区分	当初予算額	補正予算額	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	形式収支
国民健康保険	11,594,578	82,195	11,676,773	10,916,759	10,785,743	131,016
介護保険	9,425,224	164,398	9,589,622	9,601,358	9,403,334	198,024
後期高齢者医療	3,251,913	81,452	3,333,365	3,330,389	3,271,487	58,902
合計	24,271,715	328,045	24,599,760	23,848,506	23,460,564	387,942

[表2] 公営企業会計決算状況（下水道事業）(単位：千円)

(単位：千円)		
	予算額	決算額
収入	2,167,044	2,143,221
支出	2,483,587	2,338,775